

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 警察当局が発表した2020年度第3四半期(2020年10月～12月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は38,505件であり、前年度の第3四半期と比較して17.9%の減となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	117件(前年比4.9%減)
強盗	458件(同5.0%増)
強姦	143件(同47.4%増)
未成年への性的暴行	458件(同17.4%増)
麻薬関係	214件(同51.8%増)
暴行	12,680件(同19.2%減)
窃盗	12,107件(同19.5%減)
恐喝	5,486件(同10.9%減)
詐欺	2,979件(同35.1%減)
器物破損	2,768件(同7.8%減)
傷害	866件(同9.8%減)
不法侵入	229件(同21.8%減)
合計	38,505件(同17.9%減)

2020年度第2四半期の報告に引き続き、全体的に犯罪件数が減少しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比17.9%減という結果となりました。12月には大統領選挙が行われ、治安状況が悪化するという見方もありましたが、概ね平穏であり、新型コロナウイルスの影響が全体数減少の要因とみられています。しかし、強姦及び未成年への性的暴行は大きく増加しているとともに、引き続き強盗も増加しています。今後、治安状況が悪化する可能性も否定できませんので、皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

なし

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

・10月7日(水)、ドイツ人女性(52歳)とその娘(13歳)が殺害される事案が発生しました。犯人は、同2名と2020年1月から同居していたブルキナファソ人とされており、報道日に逮捕されています。

女性をハンマーによる殴打、娘は首を絞めて殺害したとされており、遺体の異臭によって近隣住民が異変を感じ、発見に至ったとのこと。そのため、実際の犯行日時は不明です。一部の報道では、犯行動機は金銭目的とされており、女性がドイツから持ってきた現金欲しさに殺害したとされています。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上